

平成21年10月20日

ＪＡバンク（ＪＡ／ＪＡ北海道信連）から寄贈 ５駅にＡＥＤ（自動体外式除細動器）を設置拡大します

ＪＲ北海道では、お客さまに安心してご利用いただけるよう、主要駅にＡＥＤを設置しています。

このたび、ＪＡバンク（ＪＡ／ＪＡ北海道信連）より地域貢献活動の一環としてＡＥＤが５台寄贈されることとなりました。このＡＥＤをもとに今年度は設置駅の拡大のほか、今後もいただいたＡＥＤで既設置駅の実替を実施してまいります。

ご寄贈いただく団体　ＪＡバンク（ＪＡ／ＪＡ北海道信連）

新規設置駅　星置駅、白石駅、大麻駅、野幌駅、恵庭駅（各１台）

５台のＡＥＤの
設置方法について　・１台は大麻駅へ新規設置します。
・４台は札幌駅の既設ＡＥＤを取り替えて設置し、この４台を新規設置駅へ移設します。

設置時期　平成21年11月6日（金）以降順次設置

その他　平成21年11月6日（金）に札幌駅にて贈呈式を実施予定
・詳細につきましては、別途プレスリリースにてお知らせいたします。



▲現在、札幌駅に設置されているＡＥＤ

< 道内ＡＥＤ設置駅 >



「ＡＥＤ」とは

自動体外式除細動器（Automated External Defibrillator）の略で、心臓の拍動が突然正常なリズムを失い、全身に血液を送り出せない状態に陥った時に、心臓に電気ショックを与えて正常なリズムを取り戻すための医療機器です。